

障害のある方や そのご家族へ



こんなことでお悩みではないですか？



親なき後のことが心配だけど、どうしたらいいんだろう。

家族が急に倒れて一人になったらどうしよう…。



ひとり暮らしで夜間や休日に困ったとき、相談できるところがなくて不安です。

親子ともに年を取り、困りごとが増えてきたので、いつでも相談できる場所があると助かる。



色々なお困りごとを

お気軽にご相談ください！

佐伯区地域生活支援拠点事業で支援します！

※ご相談、お申込みは無料です。事業の詳細は裏面をご覧ください。

【お申込み・お問い合わせ】

広島市佐伯区障害者基幹相談支援センター

担当：宮本

☎082-924-0028 FAX:082-943-8874

所在地：広島市佐伯区五日市町皆賀104-27

E-mail:saekiku_shogaisodan@misasakai.or.jp

● 「地域生活支援拠点事業」とは

障害の重度化・高齢化や親なき後を見据えて、地域や障害福祉サービス事業所との顔の見える関係づくりを通して、障害のある方やそのご家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で支える仕組みづくりを行う事業です。

● どんなことをしているの？

- ・ 地域生活支援拠点事業の登録希望者の受付、登録など
- ・ 夜間、休日における切れ目ない連絡、相談体制の提供（24時間365日体制）
- ・ 障害福祉サービスの体験利用の促進等、緊急時の支援体制づくり
- ・ 緊急時の対応、受け入れ調整
- ・ 地域の資源や周りの方との連携体制づくり など

● 対象となる方

佐伯区にお住まいで、障害のある次の方が対象です。

- ・ ひとり暮らしで、連絡体制や緊急時に支援が必要な方
- ・ 同居家族等が障害や高齢、病気等のため、支援を受けることが困難な方

● ご利用の流れ



どんなことが心配か、どんな緊急時が予想され、そのときにはどんな対応を希望されるか、そのためにはどんな準備が必要か、などの聞き取りや検討を行い、一緒に対応を考えていきます。

例えば…

親と知的障害の子の2人暮らし。高齢になってきたし、今後のことを考えたい。

事前登録し、将来の生活に向けて、泊まり先の見学・体験などができるように支援します。

親の体調不良や入院等の緊急事態

顔見知りの職員のいる短期入所で対応してもらえ、安心。



例えば…

親と精神障害の子の2人暮らし。何かあったときも自宅で過ごしたいが、他人は苦手。

事前登録し、緊急時に何の支援があれば、自宅で生活できそうか考えます。定期訪問等で人間関係を作ります。

親の体調不良や入院等の緊急事態

ヘルパーを使いながら1人での生活を続けることができた。

